

歴史的まちなみの伝統的木造建造物をさまざまな災害から護りぬく

シリーズセミナー第1回

平成28年3月6日(日) 午後1時~4時頃(開場 午後0時30分)

樹木災害と文化財防災

関西木造住文化研究会は、これまで京町家をモデルに伝統木造住宅の伝統文化を活かした防災性能の向上や再評価を目指して様々な活動を続けてきました。本セミナーでは、これまでの研究成果をふまえて、歴史的まちなみの伝統的木造建造物を、木造伝統文化・伝統意匠を活かした手法で様々な災害から護り、被害を軽減するための課題と対策をさまざまな視点から学び、考えます。お気軽にご参加下さい。

プログラム (午後1時~4時頃、終了後 懇親会)

はじめに

会場建物見学「伝統の自然材料と伝統構法の知恵を活かした耐震改修の要点を学ぶ 基礎編」(30分)

田村 佳英(KARTH 防火・耐震研究チーム) 宮下 憲次(元数寄屋研究所心傳庵 大工)

伝統町家の西陣ヒコウ 家(築約160年)は、伝統構法の今後の都市への再生の技術的可能性を検証するために、伝統技能者、各地の研究者、設計者、施工者、学生等、様々な分野の多くの人々の協力を受けて、2000年に伝統構法によって防火・耐震改修をしました。さらに防火・耐震改修手法の有効性を土壁耐震・防火実験、振動実験で検証しました。熟練技能者の大工棟梁が伝統構法の技と智慧を結集して改修した同町家は新築にも応用できるディテールの宝庫です。今回は建物見学と映像を通して、伝統の自然材料と伝統構法の知恵を活かした耐震改修の要点を解説いたします。



建物全体の構造補強例
(耐震の弱点・吹抜けトオリニワ)

講義「樹木災害と文化財防災」(1時間半程度)

小玉 泰義(岡山県農林水産総合センター森林研究所木材加工研究室)

木造文化財建造物の防災の中で、樹木災害は重要性の位置づけでは低い方であろう。たとえば、室生寺(奈良県宇陀市)五重塔の倒木被害(平成10年9月)や鶴岡八幡宮(神奈川県鎌倉市)の銀杏の倒木(平成22年3月)など、樹木そのものに文化財的価値のある場合には、一時的に人々の注目を集める程度である。しかし、樹木災害は文化財の防災のみならず、場合によっては都市インフラにも影響を及ぼすことがある。

今回の報告では、樹木の損傷・劣化を診断する技法を概観するとともに筆者の取り組んできた事例について報告する。

< 講義概要(予定) >

1. 樹木災害
2. 検査事例
3. 樹木以外への応用(伝統建築物の検査)
 - ・ 樹木診断と同じ手法を歴史的建造物(寺院)に応用した事例紹介

意見交換(45分程度)



樹木の劣化診断

講師 小玉 泰義氏 のプロフィール

京都府立大学農学部林学科卒業、島根県立工業技術センター、岡山県林業試験場を経て、現職。主な業務(専門)は、木材の強度・材質とその非破壊検査。博士(工学)、技術士(林産)。

会場：西陣^{ヒコバエ} 葉ノ家(京都市上京区上立売通浄福寺西入姥ヶ東西町 632 番地、角地、東隣青空駐車場)

* 葉^{ヒコバエ}とは、枯れ木の根元から新しい芽が生えることを意味しています。

参加費：1000 円（資料付、会員 800 円、学生無料）終了後の懇親会 300 円（学生無料）

参加方法：お名前、所属、電話・FAX 番号、メールアドレスと懇親会の参加の有無を明記の上、2 月 29 日(月)までに FAX またはメールまたは電話でお申込み下さい。

申込時点で参加受理とさせて頂き、ご返事は省略させて頂きます。

参加申し込み・問合せ先：NPO 法人 関西木造住宅文化研究会（略称 KARTH：カース）

TEL 075-411-2730 悠計画研究所内、FAX 075-411-2725、

E-mail info@karth.sakura.ne.jp <http://karth.org/>

京都市上京区上立売通浄福寺西入姥ヶ東西町 632 番地

当日配布資料：「住まい手向け既存伝統木造住宅の防火・耐震改修リーフレット」（KARTH 発行、カラー、A4 版 8 頁）他

会場の交通アクセス

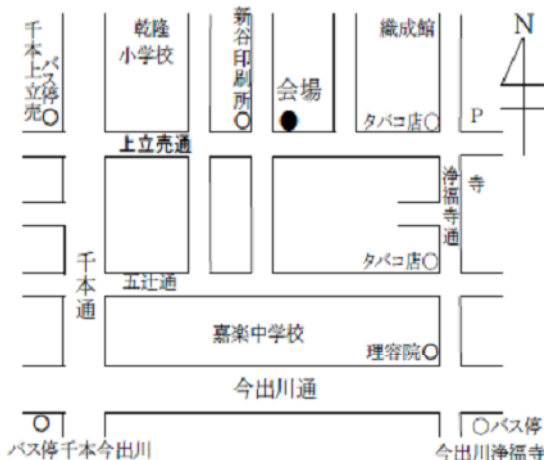
・バス停「今出川浄福寺」又は「千本今出川」又は「千本上立売」より徒歩約 5 分

・JR 京都駅より（所要時間 約 40 分、角地）

地下鉄烏丸線「烏丸今出川」駅下車、3 番出口、烏丸今出川交差点の今出川通 東側バス停から西行きバス乗車、「今出川浄福寺」下車

市バス利用：A3 の 206 番に乗車、バス停「千本上立売」下車、または B2 の 50 番、101 番乗車、バス停「千本今出川」下車

会場



会場案内図

西陣^{ヒコバエ} 葉ノ家（下記所属は当時の内容、WM:ワーキングメンバー）

- ・改修設計：KARTH(担当 悠計画研究所(田村佳英、武田真理子) & 木下孝一(数寄屋研究所心傳庵 大工棟梁)、WM23 名)
- ・改修施工：数寄屋研究所心傳庵
- ・改修前後の振動実験：統括指導 鈴木 有(秋田県立大学木材高度加工研究所 教授)、WM23 名
- ・土壁耐震実験：統括指導 鈴木 有(前掲)、実験 村上雅英(近畿大学 助教授) & 村上研究室、WM22 名
- ・土壁防火実験：統括指導 長谷見雄二(早稲田大学 教授)、実験協力 日本建築総合試験所、WM18 名
- ・「京都西陣の町家再生～西陣葉(ヒコバエ)ノ家～とその構造・防火温熱環境性能の検証」活動は、NPO 木の建築フォーラム主催・2003 年度第 1 回「木の建築賞大賞」を、研究者の方々と共同受賞。
- ・京都市市街地景観条例歴史的意匠建造物。防災協力井戸あり。

シリーズセミナーの予定（5 月以降は詳細が決まり次第お知らせいたします）

第 1 回 3 月 6 日（日）午後 1 時～4 時頃、「樹木災害と文化財防災」

講師 小玉泰義（岡山県農林水産総合センター森林研究所木材加工研究室）

第 2 回 4 月 24 日（日）午後 1 時～4 時頃、「火災の実態と建築物の防耐火に関する基本」

講師 吉田正友（大阪工業大学・特任教授（博士（工学））

会場（共通） 西陣^{ヒコバエ} 葉ノ家